

## 第43回 下野市男女共同参画推進委員会 議事録

審議会等名 令和2年度 第43回 下野市男女共同参画推進委員会  
日 時 令和2年10月12日（月） 午前10時00分から11時00分まで  
会 場 下野市役所 2階 203会議室  
出席者 長谷川万由美委員、井上永子委員、川俣一由委員、高木智子委員、  
榆木久美子委員、諏訪守委員、小倉庸寛委員、九鬼眞澄委員  
【欠席委員】近藤美知子委員、海老原新子委員、阿部憂子委員、  
渡邊欣宥委員、吉田真英委員、松嶋淑恵委員  
市側出席者（事務局）小谷野雅美総合政策部長、根本宣明市民協働推進課長、  
早乙女秀司主幹、長谷部すみれ主事  
公開・非公開の別（  公開 ・  一部公開 ・  非公開 ）  
傍聴者 0人  
報道機関 0人  
議事録（概要）作成年月日 令和2年10月29日（木）

### 【協議事項等】

#### 1 開 会（根本課長）

#### 2 会長あいさつ（長谷川会長）

昨年12月から今年の9月初めまで研究のためロンドンに行っていた。委員会の進行等に関してはみなさまにご協力いただき感謝する。

本日の男女共同参画プラン素案にも記載されているが、コロナウイルス感染防止などにより、より弱い立場の方に対する攻撃が強くなるということがイギリスでも起こった。ロックダウンにより厳しい行動制限をかけられ、1日1回の食料品の買い出しと1時間程度の運動以外は、不要不急の外出はできないことになっていた。非常に影響が大きくショックだった報道は、ロックダウンから3週間の間に家庭内暴力が原因で亡くなったと思われるケースが16件もあったということだ。日本に比べて通常時でも死亡事例が多いとは思いますが、ステイホーム期間中、たった3週間でこれだけの人が亡くなり、より弱い立場の方にしわ寄せが行ってしまうということを実感した。日本でも電話相談が通常より2割ほど増え、また、コロナ後に失業された方をみると女性の方が多い傾向があるようだ。

偶然ではあるが、そういった大変な時期に今回の男女参画プランを議論いただくということで、よりこのプランの重要性が増したと考えている。よろしく願います。

#### 3 議 事

議事録署名人に井上永子委員、小倉庸寛委員が指名された。

- (1) 第三次下野市男女共同参画プラン 素案の検討について  
《事務局より資料1を用いて説明》

【質疑等】

川俣委員 15ページについて、「栃木県市町村」となっているが、栃木県は25市町なので「村」はいらないかと思う。7か所あるので訂正をお願いしたい。

事務局 「市町村」を「市町」で統一する。

川俣委員 41ページ「中学生の海外交流派遣事業応募者数」について、令和2年度目標が20人となっているが、今年はコロナウイルスで開催中止となっている。その旨記載したほうが後々見た時に分かりやすい。

事務局 新型コロナウイルスの影響があり未実施ということを明確に記載する。

高木委員 16ページ「DV相談件数」について、市DVホットライン経由以外はどのような方なのか。

事務局 対面での相談を希望され、窓口で直接いらっしゃる方もいる。また、最初に他の機関で相談され、そちらからの紹介で窓口でいらっしゃる方もいる。

高木委員 25ページ⑧「女性が妊娠、避妊、中絶に関して自分で決めたり、健康を守るために必要なこと」について、最初に「女性が」とあると、男性に『自分に関係ない』という印象を与えてしまうのではないかと。妊娠、避妊、中絶については当然男性も関係があることなので、例えば「妊娠、避妊、中絶に関して、女性が自分で決める」という書き方がいいのではないかと。検討いただきたい。

事務局 これは、表現を「女性が妊娠、～」ということではなく、「妊娠、避妊、中絶に関して女性が自分で決める」としたほうが良いということか。

高木委員 はい。男性にも当事者意識を持っていただきたいと読みながら感じた。

事務局 また、27ページ⑩「男性も女性も共に輝く社会の実現に向けて」について、「男女」という熟語の場合は男性を先にするのが普通かとは思いますが、このプランは女性をメインとする面があるので、「女性も男性も」と逆転させてはいいか。一般的に「男女」という単語が使用されるケースが多い。フランスなど国によってはあえて「女男」と表現する場合もあるようだ。この表現に関しては、後ほど全体を通して確認をさせていただく。

井上委員 49ページ「男女の能力が活かせる職場環境の整備」について、参考資料で令和2年度のワーク・ライフ・バランス推進事業所として11事業所が示されているが、これは広報等で周知されるのか。

事務局 10月に行われる認定証交付式の写真入りで、12月の広報に掲載をする予定。

井上委員 認定方法について、事業所のどのような取組が論点となったのかを掲載すると、市民の方も理解しやすいのではないかと。

事務局 認定要件のチェックリストを前回見ていただいたかと思うが、取組のジャンルごとに分けて掲載している。そのジャンルの掲載でいいか。

井上委員 それで良いと思う。市民の方に分かりやすい方が良いので、お願いしたい。

事務局 補足となるが、認定証交付式は産業祭のステージで行う予定だった。今年の産業祭は新型コロナウイルス対策のため、オンラインで行うイベントとして検討を進

めている。その中の特設サイトで掲載予定。

長谷川会長 施策の方向 I-2、51 ページの数値目標「市の審議会等委員における女性の割合」について。これ自体は問題ないのだが、37 ページではこれまでの取組について「30%は達成していますが、プランの目標の40%の達成に向けて引き続き取り組んでいく必要があります。」とある。市民意識や事業の効果については市民調査を行い、事業所のワーク・ライフ・バランスは事業所アンケートを行っていると考え、なぜ達成できなかったのかなどの分析があってもいいのではないか。プランに盛り込むかは別として、市としてはどのように働きかけをして、結果どうして達成できなかったのかという分析を、どのようにされているのか教えていただきたい。

事務局 37 ページのご指摘の部分だが、市の「審議会等の設置及び運営等に関する要綱」のなかで、男女どちらかの性が30%を割らないようにとされ、これについて達成している。このほかに第二次男女共同参画プランでは40%という目標を上げてきたが、現状達成できていない。

分析のために女性の割合が著しく低い審議会をリストアップしたが、例えば土地区画整理、文化財関連、地権者が絡む審議会等の委員は男性が多くなりがちであり、女性がいないものもあるということがわかった。すべての審議会で厳密に40%を達成するのは、それぞれの審議会委員の参加条件を見ると難しい部分もあると認識しているが、状況により今後割合も変わってくるのではないと思う。現在の女性比率は37.5%で上昇傾向にあるが、審議会を所管する各課は男女比率を考慮し40%を超えるよう意識し、引き続き委員として代表を推薦する団体の方にもご協力をいただく必要があると考えている。これらの分析についての掲載は、37 ページへの掲載が適当ではないかと考える。また、なぜ男女が均等になった方がいいのかという部分についても表現を加える。

高木委員 52 ページ、「市民の取組」に「市政へ関心をもち、審議会等の委員、市議会議員等の男女比について調べてみましょう。」とある。市議会議員は明らかだが、審議会委員の男女比というのは市のホームページなどで公表されているのか。

事務局 各審議会についてまとめて載っているわけではない。審議会ごとに委員の名簿は公表されている。

高木委員 名簿だと、男女どちらかわからない名前もある。性別の公表は個人情報保護の観点からも難しいのではと考える。

事務局 県のホームページでは個人名は載せず、市町村ごとに男女比のみ載せている。市民に取り組んでもらうこととしては難しいか。

九鬼委員 44 ページ赤字の部分「DV相談窓口に関する認知度は一部低下している」について、どこに相談していいのかわからない人がたくさんいると思う。相談するにも勇気が必要で、恥じる気持ちがあったり、家の中をさらけ出す必要があったりする。市の窓口であっても、他の人と交わらない部屋のようなものを作っただき、こういったところで相談できるということを市の広報紙などで公表すれば、

相談にも行きやすいのではないか。

事務局 来庁での相談の場合は、こども福祉課で予約を取っていただき、希望者は個別の相談室にご案内している。カウンターにも仕切りが左右についているが、他の市民の往来も多い場所。個室で人に触れず相談でできるということのPRが足りていない部分について、検討する。

長谷川会長 他にいかがか。ないようであれば、素案について承認いただいたということでもよろしいか。

(一同承認)

#### 4 その他

今後のスケジュールについて

《事務局より資料2を用いて説明》

##### 【連絡事項等】

長谷川会長 宇都宮大学のダイバーシティ研究環境推進本部において、県やパーティ等の協力により、新型コロナウイルスが女性に及ぼす影響についてアンケートを実施している。結果については11月20日のフェスタinパーティにて報告する予定。いろいろな調査が行われているが、栃木県の状況を今の時点でしっかり把握しておきたいということで企画したアンケートなので、ご協力いただけたらと思う。それでは進行を事務局にお返しする。

#### 5 閉会〈根本課長〉

次回は11月16日開催予定。これにて男女共同参画推進委員会は終了とさせていただきます。